



上/右に国際障害者交流センター「ビッグ・アイ」、左に隣接するのは大型児童館「ビッグバン」

左/40号のビッグ・アイオープン告知記事
右/43号の誌面



13)年9月。その年の『FINEおおさか』40号では、ビッグ・アイのオープンを伝えていました。「国連・障がい者の十年」を記念して建てられたビッグ・アイは、全館、最新のバリアフリー設備を備え、誰もが利用しやすい、21世紀のノーマライゼーションのモデル施設です。駐車場から通路、トイレ、エレベーターなどの各施設まで、使いやすさと安全性を考えた設備が充実しています。

ビッグ・アイでは、障がいのある方もない方も一緒にアートを身近に感じ、アートを通じて社会参加や自己表現について考え、共に時間・空間を共有し、相互理解を深め、自己表現のきっかけづくりを提供する場として、バリアフリーアートアカデミーを企画。また、国際交流事

業、全国の障がい者芸術・文化活動支援事業として、障がい者芸術・文化フェスタ、障がい者芸術・文化オープンカレッジなどの各種文化・芸術イベントを開催しています。

2002(平成14)年43号の誌面では、ビッグ・アイで開催された「障がい者芸術・文化オープンカレッジ」の模様をレポート。障がいのある方たちに自己表現の楽しさを実感していただくこと、舞台芸術、演劇、ダンス、音楽の4つのコースでの講義や体験イベントを実施。その様子を伝えています。

また、それぞれの施設で開催される講座やイベントなどについては、財団の催しを紹介する「FINEあらかると」のコーナーで紹介してきました。

**障がい者のふれあい交流イベント
「ファインふれあいツアー」を実施**

ファイン財団のふれあい交流事業として、障がい者の社会参加と交流を目的に「ファインふれあいツアー」を実施。1998(平成10)年2月からは、大阪ではほとんど積もることのない雪を通してレクリエーションやスキー講習会などを楽しむ雪遊びツアーを開催。一泊二日で兵庫県村岡町へ出かけました。この時の様子は『FINEおおさか』27号の誌面に巻頭カラーで紹介しました。

暖冬で雪がなく実施できない年もありましたが、蔵王や白馬、ハチ北スキー場などへのツアー

は、障がい者やその家族の方々などが毎年楽しみにされているイベントです。

1999(平成11)年31号では、山形県蔵王での「ファインふれあい蔵王ツアー」の様子を、2000(平成12)年35号では、ハチ北スキー場での「ファインふれあいスノーツアー2000」の様子を紹介しました。参加者がゲレンデで楽しむ姿や、スキー以外のさまざまなイベントで地元の方々と交流する様子を伝えました。



上/「ファインふれあいスノーツアー2000」
上左/チェアスキーを楽しむ参加者



左/31号の誌面 右/27号の誌面